



かながたせいさく
金型製作

独自の技術を駆使して、自動車プレス 部品の金型を製作しています。



株式会社旭洋工業製作所 須山工場

所在地／裾野市須山2810-2 TEL.055-965-1034 <https://www.kyokuyo-ind.co.jp>
設立／1953年(昭和28年)10月 従業員数／須山工場43名(グループ全体1,500名、2025年9月現在)

わたしの仕事 私たちの仕事

私たちは自動車の部品をつくるために必要な「金型」をつくっています。金型を使うことで、正確な部品を一度に大量につくることができます。つまり、安全で快適な自動車をたくさんつくるのに欠かせないのが、「金型」なのです。須山工場では、金型を設計・製作して自動車メーカーさんへ出荷しています。誰かの暮らしを見えないところで支えている思いを大切にしながら、工場全体で協力して金型をつくっています。



▲外観

? 金型ってどんなもの?

「金型」とはその名の通り、金属でできている型のことです。みなさんの暮らしで身近なものだと、たい焼きをつくるときの型が金型の一種です。たいの形になっている金属の型にたい焼きの材料を入れて焼くと、たい焼きができます。自動車の部品もたい焼きに似ていて、型の間に材料を入れてギュッと強い力で押すと、作りたい形ができあがるのです。

自動車のどの部品をつくる金型をつくっているの?

自動車のボディやフレームに使われています。これらの部品は、見えにくいところにあるけれど、車をきちんと動かすために無くてはならない、とても大切なパーツです。



▲車のボディ

▲車のラダーフレーム

いろ色がついているところの部品をつくるときに必要な金型をつくっているよ。



金型ができあがる流れをみましょう!



1 設計



つくりたい部品の形にあわせて、パソコンで金型の図をかきます。

2 シーエー CAE



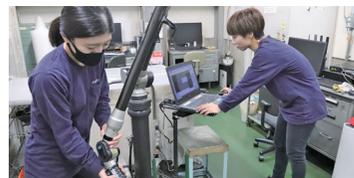
コンピューター(CAE)の中で、金型がうまく部品をつくれるか先にチェックします。

3 機械加工



大きな機械を使って金属を削り、金型の部品にします。ミリより小さい単位で細かく削ります。

6 測定



試しにつくった部品のサイズや形をくわしく測って、図のとおりのできているかを確認します。

5 トライ(試し打ち)



できた金型で試しに部品をつくり、うまく形ができるか、金型にまちがいがいないかを調べます。

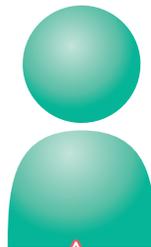
4 仕上げ・組み立て



削った部品をていねいにみがいてから組み立てて、一つの金型にします。

!! 本社では車の部品をつくっているよ!!

須山工場で設計・製作された金型が本社工場に送られ、本社工場ではその金型をプレス機に取り付けて、自動車のボディ部品などに使う金属部品を、大量に生産しています。



はたらく人の声

こうきぎょうぶ
工機事業部
設計グループ

Mさん

お客様の仕様に合わせて、自動車のプレス部品の金型を設計しています。どんなカッコイイ自動車になるか、想像しながら設計しているのが楽しいです。組み立てしやすく、壊れない金型を設計するのが一番大事です。



こうきぎょうぶ
工機事業部
金型・機械グループ

Kさん

金型の部品組み付けや仕上げをしています。一つの金型の完成まで最低でも1~2か月はかかり、やることがいっぱいあるのでとてもやりがいを感じます。それぞれの金型で作業内容が違うので楽しく、完成した時の達成感もあります。